



節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	J.FC MIYAZAKI	A	● 1 - 4	平成最後の九州サッカーリーグ開幕にあたり、素晴らしいピッチを用意して頂きました関係者ならびに、会場設営および運営等をしていただいた沖縄県サッカー協会の皆様、海邦銀行と沖縄SVの皆様へ感謝申し上げます。 スポーツカレッジとしては、6年ぶりの九州リーグでした。緊張以上にわくわくと興奮して開幕戦を戦いました。
2	日本製鉄大分	H	● 0 - 3	誰にもバレてはいないと思いますが、開幕戦前半途中で鼻血が出るというアクシデントがありました。 結果は、2連敗という結果でした。選手は初めての九州リーグで戸惑いがあったように感じました。早く九州リーグに慣れて、持ち前の力を出し切って欲しいと思います。まずは、一勝（勝点3）を取るために頑張ります。どうぞ、今シーズンよろしくお願い致します。
3	九州三菱自動車	A	● 1 - 2	2連敗通しの対決で、絶対に勝ち点が欲しかったが取れなかった。 連敗の後で、自信を無くしかけていた部分もあったが、少しずつリーグに慣れてきたように感じた。 次節まで、時間が有るので、良い準備をして自分達のサッカーを貫き通して、チームの成熟度を高めていきたい。 九州三菱自動車の関係者、福岡県サッカー協会の皆さま、運営ありがとうございました。
4	熊本県教員蹴友団	H	● 0 - 2	ホーム開幕戦で、今季初の勝ち点を狙って臨んだ試合だったが、相手の思うつぼにはまり、相手ペースで主導権を握られ先制を許した。 後半巻き返しを計ったが、もう一步のところまで点を取ることができず、追加点を許した。 内容は、良くなってきているし、少しずつ戦手も慣れてきた。あとは、勝ち点だけ。 沢山の方々の応援ありがとうございました。
5	川副クラブ	A	● 1 - 3	連敗の中、なんとしても欲しかった勝点3だったが、今回も取りきれなかった。 個人としては、それなりに出来るようになったが、チームとしては、まだ時間が掛かりそう。基本技術と運動性が物足りない。 次節はホーム戦なので、強い気持ちを持って臨みたい。 今回、運営して頂いた川副クラブ、佐賀LIXILの皆さんと佐賀県サッカー協会の方々に感謝いたします。
6	NIFS KANOYA FC	H	○ 3 - 1	リーグ開幕5連敗で、自信を失いかけていた中、絶対負けられない試合であった。 前半を先制して折り返すも、コミュニケーションが上手く取れず、自分たちのミスからピンチを招く場面があり、修正を促し後半を迎えた矢先、失点し同点にされる。 しかし、選手は全員で声を出し合い、攻撃のリズムが良くなっていった。結果的に初の勝ち点を取れたことは、選手の自信に繋がったはず。 さらに精度が上がればもっと良くなっていくはず。この勢いを大事にして連勝を目指したい。 今回も、沢山の応援と差し入れを頂き、ありがとうございました。
7	佐賀LIXIL	A	● 2 - 5	前節初の勝ち点を挙げ、勢いに乗りたかったLIXIL戦。今季最悪のゲーム内容になった。 個人では頑張っているものの、組織だったプレーがチームとして出せなかった。お互いのコミュニケーションを取る場面も少なく、自分たちのミスから失点。 前期残り2試合。サッカーが出来る事への感謝、応援にきてくれた方々の気持ちに応えられるプレーを期待したい。 佐賀LIXILの関係者、カレッジOBの皆さん、今日はありがとうございました。